

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

島根県高体連サッカー専門部

【はじめに】

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の感染を最大限に防ぎながら、選手が安全に大会参加できるように作成しました。本大会を成功裡に終えるためには、サッカーに関わるすべての方々のご理解とご協力が必要となります。各チーム、観戦者、関係者の皆様におかれましては感染症対策ガイドラインを遵守していただけますようお願いいたします。

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の基本を徹底する。 ○身体的距離の確保 ○マスクの着用 ○手洗い
- (3) 3密（密閉、密集、密接）を避ける
- (4) 安全な活動環境を確保する。
- (5) 感染状況に応じて、観戦者を制限する措置を講じる。

【大会参加の基本的な考え方】

大会参加の可否は、以下の各項目を踏まえ、生徒、教職員を含めた学校、及び県内や大会開催地域の感染状況等を勘案し、学校長が判断し責任を持つ。

- (1) 参加校は大会参加について、別表「大会参加判定基準」により適切に判断すること。
- (2) 選手・保護者が大会要項やガイドライン等を確認し、同意の上で参加する。
- (3) 当日、検温の結果 37.5℃以上の場合、または体調が良くない場合（発熱・席・咽頭痛などの症状がある場合）
- (4) 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航がある場合は参加できない。
- (5) 選手、スタッフ等に感染者が出た場合、保健所等の専門機関の指示、指導に従うものとする。
- (6) 選手、スタッフ等及び大会関係者は、大会 2 週間前から大会当日まで体調の記録を行うなどして、健康管理に十分努めること。
- (7) 大会申込から大会当日までの間、選手、スタッフ等及び大会関係者に感染が発生した場合は、保健所の指示に従うとともに、出場については「大会参加判定基準」により適切に判断すること。

1. 事前の対応

- (1) 大会本部並びに、各チームは感染対策責任者を設置すること。大会本部は一覧表を作成すること。
- (2) 関係機関の要請に応じていつでも情報が提供できるようにしておくこと。
 - ① 大会前の健康管理については各チームの責任において行う。日々の健康観察を徹底すること。

2. 当日の対応

(1) 健康観察

チェックシートの提出は必要ないが、以下に該当する場合には大会参加、会場への入場は認めない。

- ・平熱を超える発熱（37.5℃以上）
- ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- ・同居家族や身近な知人で、感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触

(2) 試合会場への入場

【出場チーム】（選手、監督、コーチ及び引率者）

試合会場への入場は、出場チームの登録選手、登録以外の部員、スタッフ、役員、及び大会本部が許可した者のみとする。登録以外の部員が観戦する場合には、各会場で指定されたスペースで身体的距離を確保した状態で観戦する。応援については「(9) 応援について」を遵守すること。

【大会関係者】（役員、補助員、報道機関、招待者、視察者、スポンサー、観客等、会場に来ているすべての者）

試合会場への入場は、「(1) 健康観察」の項目に該当しない者の入場を認める。入場に際しては以下の項目を遵守すること。

- ・各会場では指定されたスペースで社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保した状態で観戦する。
- ・会場ではマスク着用を原則とする。
- ・会場の内外を問わず、社会的距離を確保することはもとより、大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動を避けること。
- ・ピッチ内で選手との接触は避けること。（試合前、試合中、試合後）

※基本的に会場へ入場する際には、体調記録表等のシート提出は必要ないが、会場によっては連絡先等の記入を求められる場合があるので、その指示に従うこと。（1回戦、2回戦の浜山陸上競技場については一般観戦者及び保護者は連絡先の記入を求められます。）

(3) マスクの着用

- ①大会本部は、選手、スタッフ等及び大会関係者にマスク等を準備させ、大会中は競技等実施時及び食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底する。
- ②ボールパーソン、担架係を配置する場合はマスクの着用とともに手袋の着用ができるように対応する。
- ③気象状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。その際、身体的距離の確保を徹底し、会話を極力控える。

(4) 手指衛生、消毒等について

- ①石けん・アルコール消毒液等は各チームで携行する。
- ②本部でも石けん、アルコール消毒等を準備し、必要に応じて対応する。
- ③使用した場所（椅子・机・ドアノブ・スイッチ・ロッカー等の取手等）については、原則として各チームで消毒を行う。（使用施設のスタッフ等によって消毒が行われる場合にはその指示に従う）

(5) 諸室・更衣場所について

- ①必要に応じてドア及び窓を開け換気を徹底すること。
- ②広さにはゆとりを持ち、選手同士が密になることを避け、お互いが正面に座らないように配慮する。難しい場合は、一度に使用する人数を制限するなどの工夫を行うこと。
- ③座席を設置する際に前後左右 1.5～2 m の感覚をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。

(6) トイレ・手洗い場

- ①手洗い後に手を拭くためのタオル等は他人と共有せず、各個人で用意する。
- ②便器の蓋を閉めて汚物を流す。

(7) ベンチ

- ①十分な間隔を空けて座ることができる広さを確保する。難しい場合はベンチエリアを広げる。なお、暑熱対策を十分に講ずること。
- ②試合に出場する選手以外は基本的にマスクを着用し、会話を最小限にする。
- ③1日に同会場で複数試合を行う場合は、試合終了ごとにベンチの消毒を行うこと。

(8) 試合の前後または試合中に避けた方が望ましい行為

- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手
- ・ 密になる円陣
- ・ 倒れた選手に手を貸す行為
- ・ 得点時のハイタッチ、抱擁
- ・ つばを吐く、手鼻をかむなどの行為
- ・ 口に含んだ水を吐く行為
- ・ 水分補給のためのボトル、水や氷を溜めたクーラーボックスの共有
- ・ タオルの共有
- ・ 近距離での会話や咳エチケットに反する行為

(9) 応援について

①容認される行為

- ・横断幕掲出 ※掲出の彩、密にならないよう十分配慮してください。
- ・手拍子や太鼓等の鳴り物による応援、メガホンの使用。
- ・タオルマフラー、大旗含むフラッグなどを“振る”もしくは“回す”

②禁止される行為

- ・応援を扇動する
- ・歌を歌うなど声を出しての応援、指笛
- ・音響機器の使用
- ・ブラスバンドによる演奏
- ・ハイタッチ、肩組み
- ・ビッグフラッグ ※ただし、お客様がいない席に掲出する場合は容認

(10) 試合終了後

- ①ゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各チームで持ち帰る。
- ②ゴミを収集する際は、マスクや手袋を着用する。
- ③試合終了後は、できるだけ速やかに会場から退出することが望ましい。

3. 事後の対応

(1) 競技会終了後の健康管理

- ①試合終了後3日間は、各チームで選手・スタッフ等の体調に目を配り、異変があった場合、速やかに高体連サッカー部専門委員長（以下、委員長）に連絡すること。委員長は異変の有無を県協会及び県高体連に報告する。
- ②試合終了後2週間以内に、選手、スタッフ及び大会関係者の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、委員長は県協会を通じて公益財団法人日本サッカー協会に、さらに県高体連に報告すること。

4. その他

- ①大会開催期間中の県内コロナウイルス感染状況によっては、大会の中止・延期となる可能性がある。
- ②選手登録締切後（10月3日（月）17:00）の登録メンバー30名の変更は原則受け付けない。但し、例外として新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出た、または濃厚接触者として認定された場合等において本大会への参加が不可能となった選手に限り、選手変更届（別紙5）を委員長に提出し、県サッカー専門部の承認を得られれば変更が認められる。
* 10月24日（月）締切の選手変更についてはこれに限らず認められる。（年度初め配布の選手変更届を提出）
- ③宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。
- ④バスの輸送に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。

【大会参加判断基準】

別表 1

令和4年度 新型コロナウイルス感染症に係る県高校総体参加及び大会開催判断基準等（生徒・教員・大会関係者を含めた考え方）							
学校の状況	本人の状態	大会参加の可否	学校全体の参加可否	本人参加可否	チーム参加可否	開催可否等	備考
学校全部を休業 (R3.12.13学校運営ガイドライン)		・学校の全部を休業する場合、大会参加は原則として自粛	原則不可	原則不可	原則不可	可	・(※3) 大会は開催
学校の一部を休業 (R3.12.13学校運営ガイドライン)		・学校の一部を休業する場合、休業するクラスの生徒の大会参加は原則として自粛	可	休業するクラスの生徒は原則不可	休業するクラスの生徒は原則不可、チームは原則可	可	・(※3) 大会は開催
	過去14日間を含め、大会期間中の体調不良(※1)なし	・自身の体調を確認し顧問へ報告	可	可	可	可	・(※3) 大会は開催
	過去14日間で体調不良があったが、大会前日までに症状消失	・医師の診断等により、感染の疑いがないことを学校が確認した場合は参加可	可	条件付き可	可	可	・(※3) 大会は開催
	大会期間中に体調不良あり	・本人は参加不可 ・チームは「当該チーム関係者」、「大会主催者」と協議の上決定	可	不可	協議	可	・(※3) 大会は開催
	検査対象者(※2)	(濃厚接触者の疑いがある場合) ・検査結果が判明するまでは参加不可 ・濃厚接触者と判断された場合、2日目、3日目ともに陰性の場合は4日目より参加可能	可	条件付き可	協議	可	・(※3) 大会は開催
		(濃厚接触者の疑いがない場合) ※幅広検査対象 ・陰性と判明した場合は参加可 ・任意による検査対象者は参加可 ・その他、医療関係者、当該学校長、大会主催者と協議の上、参加可とする場合もある	可	条件付き可	条件付き可	可	・(※3) 大会は開催
	濃厚接触者または感染が判明した者	・本人の参加は不可 ・チームの参加は、保健所及び医療機関等の助言をもとに、「当該学校長」と「大会主催者」と協議の上決定	可	不可	協議	可	・(※3) 大会は開催
・※1 体調不良・・・発熱(37.5℃以上)、咳・喉の痛み、だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、臭覚や味覚の異常等の症状 ・※2 検査を受ける者全員 ・※3 大会は開催 ・ただし競技により大会前日までまたは大会初日に個人、チームで25%を超える辞退者または辞退チームが出た場合及び大会役員等の欠員により運営に支障をきたす場合は大会延期または中止等を検討 大会延期または中止が出た場合、総合優勝等はなしとする。							